（別紙３）

教体起第１３１６号－１
平 成 ３ ０ 年 ３ 月 １ 日

有限会社 平井工業
代表取締役 平井　圭一　様

米子市長　伊木　隆司

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」指定管理者業務評価書

施設名	米子市体育施設及び米子市都市公園
施設所管課	教育委員会事務局　体育課
指定管理者名	有限会社　平井工業
指定期間	平成２８年４月１日　～　平成３３年３月３１日（１年目）

【モニタリング終了後の総評】
各施設とも事業計画書に則り、概ね良好に管理されています。
ただし、自主事業について計画通りにできていないため、今後取り組んでほしい。

【施設所管課】
指定管理業務以外の原因で年度途中の８月から１０月が休止期間となり、年間を通じて計画していた業務ができなかった部分もあったが、施設面では概ね良好な管理ができていました。翌年度以降はできなかった自主事業の部分についても着実に取り組んでいただきたい。

【第三者評価】（米子市スポーツ推進審議会の意見抜粋）
・各施設とも利用が多く、円滑に運営されている。
・東山球技場、陸上競技場とも芝の状態が良くなっている。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】
上記のように自主事業の実施について改善をお願いします。

【第三者評価】（体育施設についての米子市スポーツ推進審議会の意見抜粋）
・指定管理者となっている企業と市職員が絡む汚職事件があったが、不正があった企業が指定管理者となっている事に違和感を感じる。指定後にその企業や社員が社会的な不正を行った場合の企業への対応を契約に明記しておくべき。
・自主事業についての意欲が乏しいと感じる。工夫をしていただきたい。
・受動喫煙防止のためスポーツ施設には基本的に灰皿、喫煙所は必要ない。
・ネット予約の導入を検討してほしい。
・市民球場の電話がＦＡＸ兼用でＦＡＸ使用中が長くつながらない場合がある。別回線を引いてほしい。
・成人のスポーツ実施率向上のため、地区体育館で地域住民を対象としたスポーツ教室をしてほしい。

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	総括表	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	資料確認 本部：統括責任者 統括責任者補佐 事務員 市民体育館（本部） 支部：地区体育館 武道館・弓道場 東山公園管理センター 陸上競技場事務所 淀江運動公園事務所 各施設等巡視 計５１名
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認 以下の研修を実施された。 ５月　防災防犯研修 ６月　救命救急研修 １１月　個人情報保護研修 １２月　避難訓練 １月　剪定研修 ２月　救急救命研修 避難訓練 ３月　施設管理研修 安全運転研修 接遇研修 救急救命研修 避難訓練
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	D	自主事業の広報等計画通りにできなかった。

	２　利用者に関する業務			
	⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 利用者数対前年比 93.7%
	⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
	３　保守点検並びに清掃等の業務			
	⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検、夜間警備など専門的な技術を要するものである。
	⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
	⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
	⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	自主事業が計画通りに実施できなかった。
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	市民の健康増進のための施設管理が行えている。
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	資料確認 利用者の要望を把握するため、各施設においてアンケートを実施。 総数は２０３通 施設についての総合的な印象の項目は 期待以上　５% 期待どおり　４４% まあまあ　４３% 特に感じない　７% 良くなかった　１% であり、総合的な満足度は概ね高いと思われる。

	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか 好評か	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	アンケート調査の結果、施設運営についての満足度は高いが、予約方法等の課題がある。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	自主事業が計画通りに実施できなかった。
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	市民の健康増進のための施設として役割を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（15点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**	B	資料確認
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**	B	資料確認
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**	B	資料確認

【総評（所管課評価）】 指定管理業務以外の原因で年度途中の８～１０月が休止期間になり、年間を通じて計画していた業務ができなかった部分もあったが、施設面では概ね良好な管理ができた。 翌年度以降はできなかった部分に着実に取り組んでほしい。	合計点 （57）点/（100）点 ×100＝（57.0） 平均点 （２．８５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　A	前年度〔平成２７年４～３月〕　B	対比 A－B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	―	―	―	各施設の表に記載
施設利用者数	５３０，２０３人	５６５，５３７人	－３５，３３４人 ９３．７（%）	

※業務休止による市直営期間の８～１０月の利用者数を含む。

※２　事業収支

（1）収　入　　（単位：千円）

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
指定管理料	１４５，７６７	１９３，４７８	－４７，７１１ ７５．３（%）	２８年度から利用料金制採用のため。
事業収入	３５，０６９	―	＋３５，０６９ ―（%）	〃
合　　計	１８０，８３６	１９３，４７８	－１２，６４２ ９３．４（%）	

※業務休止による市直営期間の８～１０月も含む。

（2）支　出　　（単位：千円）

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	１０７，９１８	１１９，００２	－１１，０８４ ９０．６（%）	
管理運営費	７２，９１８	７４，４７６	－１，５５８ ９７．９（%）	
（うち委託料）	８，８７６	９，２９９	－４２３ ９５．４（%）	
合　　計	１８０，８３６	１９３，４７８	－１２，６４２ ９３．４（%）	

※業務休止による市直営期間の８～１０月も含む。

※３　経営状況分析指標

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	備　　考
①事業収支	０	０	―	
②利用料金比率	１９．３（%）	―	―	
③人件費比率	５９．６（%）	６１．５（%）	＋０．６ポイント	
④外部委託費比率	４．９（%）	４．８（%）	－０．６ポイント	
⑤利用者当たり管理コスト	３４１円	３４２円	－１３円 ９６．３（%）	
⑥利用者当たり自治体負担コスト	２７４円	３４２円	－１３円 ９６．３（%）	

①事業収支：（収入－支出）

事業全体が黒字で施設の管理運営ができているかどうか確認する。赤字の場合は管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：（利用料金収入/収入）

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：（人件費/支出）

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、逆に費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：（外部委託費合計/支出）

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：（支出/延べ利用者数）

利用者１人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：（指定管理料/延べ利用者数）

利用者１人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）

項　　目	平成２４年	平成２５年	平成２６年	平成２７年	平成２８年	備　　考
①自己資本比率	36.9%	37.8%	41.3%	48.9%	82.1%	
②流動比率	164.9%	149.2%	178.0%	218.8%	489.4%	
③固定長期適合率	48.3%	50.7%	40.8%	39.6%	45.4%	
④総資産経常利益率	1.4%	0.3%	8.76%	8.8%	0.21%	
評　　価	（以上の指標を参考に評価する。）					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去４年分を記載。

①自己資本比率

総資産（資産合計）に占める自己資本（純資産合計）の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金（負債合計）に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、７０%以上なら理想企業、４０%以上なら倒産しにくいとされている。

自己資本比率（%）＝自己資本÷総資本×１００

②流動比率

団体の短期的な支払い能力を示す指標。１年以内に現金化できる試算を「流動資産」、１年以内に支払いを要する負債を「流動負債」と言い、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払い能力が高いことを示す。１００%以上であれば問題ない。１００%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

流動比率（%）＝流動資産÷流動負債×１００

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先１年以上換金できない、または換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。１００%未満であれば問題ないが、１００%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

固定長期適合率（%）＝固定資産÷（固定負債＋自己資本）×１００

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけの経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

総資本経常利益率＝経常利益÷総資本×１００

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

・地区体育館の利用者が閉館時間になっても帰らず、周囲の住民からうるさいとの苦情があったため、指定管理者から利用者に対して注意を促した。
・東山公園内の外灯が切れているとの苦情があったため、交換するよう指定管理者に指示した。
・東山陸上競技場でのサッカーの試合時に太鼓の音がうるさいとの苦情が近隣住民からあった。騒音規制に触れるものではないが、鳴り物での応援を自粛してもらうよう主催者に依頼した。

６　利用者アンケートの結果

別紙に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（1）市民体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設稼働率 99.6% 施設利用者数対前年比 114.0%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 接客・対応は適切である。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 利用率も高水準であり、市の拠点体育館としての施設の効用を十分に発揮している。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 施設が老朽化しており、雨どいの水漏れ、避難灯の不良などあったが速やかに修繕されている。 ２８年度から管理人を廃止した武道館の受け付けも行っており、業務が増えているが、管理内容は概ね良好である。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９３日	２９０日	＋３　、１０１．０(%)	
施設利用者数	３９，７９９人	３４，８８９人	＋４，９１０人 １１４．０（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９９．６% ２９２日／２９３日	８３．４% ２４２日／２９０日	＋１６．２ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	本年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	２，９６１，５１８円	２，７３４，１８３円	＋１８２，３３５円 １０８．３（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（２）東山体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設稼働率 99.3% 施設利用者数対前年比 87.3%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載

	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 接客・対応は適切である。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 利用率も高水準であり、市民の健康増進のための施設として効用を発揮している。 市民体育館のサブアリーナとしての使用も多い。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 管理内容は概ね良好と思われる。 排水管の不良や引き戸の修繕など維持管理も迅速に対応された。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９３日	２９０日	＋３　、１０１．０(%)	
施設利用者数	２３，６６１人	２７，０７９人	－３，４１８人 ８７．３（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９９．３% ２９１日／２９３日	９８．６% ２８６日／２９０日	＋０．７ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，４４５，６１０円	１，３５３，８２０円	＋９１，７９０円 １０６．７（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし。

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（３）住吉体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 82.3% 施設稼働率 100.0%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 接客・対応は適切である。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 利用率も高水準であり、市民の健康増進のための施設として役割を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 管理内容は概ね良好である。 大雪の際には隣接の公民館駐車場の除雪も行うなど地域のためとなる業務を行っている。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９３日	２９０日	＋3日 １０１．１（%）	
施設利用者数	１７，１９５人	２０，８９０人	－3，６９５人 ８２．３（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００．０% ２９３日／２９３日	９９．７% ２８９日／２９０日	＋０．３ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，２０４，７３０円	１，１０５，１００円	＋９９，６３０円 １０９．０（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（４）加茂体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 利用者数対前年比　47.5% 施設稼働率 100.0%
⑵利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 接客・対応は適切である。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 耐震改修工事により11月～3月までの間使用できなかったが、開館中は順調な管理運営だった。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 耐震改修工事による閉館期間が５ヶ月あり、利用者に不便をかけたが、利用期間中は概ね良好な管理内容だった。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。
※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１７０日	２９０日	－１２０日 ５８．６（%）	耐震工事による休館のため。
施設利用者数	１０，１８７人	２１，４１８人	－１１，２３１人 ４７．５（%）	〃
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００．０% １７０日／１７０日	９９．７% ２８９日／２９０日	＋０．３ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	５９８，９８０円	１，２０８，４９０円	－６０９，５１０円 ４９．５（%）	耐震工事による休館のため。

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（５）南部体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 利用者数対前年比 103.2% 施設稼働率 100.0%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 接客・対応は適切である。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 利用率も高水準であり、市民の健康増進のための施設として役割を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 管理内容は概ね良好である。 近隣の高校の体育館が工事中に部活動に利用されるなど、地域住民以外にも幅広く利用されている。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９３日	２９０日	＋３日 １０１．０（%）	
施設利用者数	１６，２６５人	１５，７５８人	＋５０７人 １０３．２（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００．０% ２９３日／２９３日	９９．３% ２８８日／２９０日	＋０．７ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，２７７，６６０円	１，２３１，０８０円	＋４６，５８０円 １０３．７（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（６）弓ヶ浜体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 利用者数対前年比 103.0% 施設稼働率 100.0%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 接客・対応は適切である。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 利用率も高水準であり、市民の健康増進のための施設として役割を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 管理内容は概ね良好である。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９３日	２９０日	＋3日 １０１．０（%）	
施設利用者数	１４，１９２人	１３，７７６人	＋４１６人 １０３．０（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００．０% ２９３日／２９３日	９９．７% ２８９日／２９０日	＋０．３ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，２６４，０６０円	１，２７８，０２０円	－１３，９６０円 ９８．９（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（７）美保体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 116.0% 施設稼働率 99.3%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 接客・対応は適切である。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 市民の健康増進のための施設として役割を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 立地的に市の外周部に位置し、利用者数は地区体育館の中で最も少ないが、地域住民だけでなく隣接する美保中学校のバドミントンの部活動にも使われるなど有効に使われている。 また、管理人の接遇についてお礼のメールが体育課に届いており、利用者への接客・対応も適切と思われる。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９３日	２９０日	＋３日 １０１．０（%）	
施設利用者数	１２，９１２人	１５，８３９人	－２，９２７人 ８１．５（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００．０% ２９３日／２９３日	９９．３% ２８８日／２９０日	＋０．７ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，２００，６７０円	１，１９８，９３０円	＋１，７４０円 １００．１（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし。

6　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（８）福米体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 利用者数対前年比 84.2% 施設稼働率 100.0%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 接客・対応は適切である。
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 市民の健康増進のための施設として役割を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 管理内容は概ね良好である。 指定管理者の原因によるものではないが、施設が老朽化しており雨漏りが発生し利用者に迷惑を掛けているが安全に配慮して管理している。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９３日	２９０日	＋３日 １０１．０（%）	
施設利用者数	１６，３３７人	１９，４０１人	－３，０６４人 ８４．２（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００．０% ２９３日／２９３日	９９．７% ２８９日／２９０日	＋０．３ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，４００，５６０円	１，４６２，７２０円	－６２，１６０円 ９５．７（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（９）福生体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 101.4% 施設稼働率 100.0%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 市民の健康増進のための施設として役割を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 管理内容は概ね良好である。 利用者数も年間２０，０００人を上回り地区体育館としては高水準であり、多くの地区住民等に利用されている。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９３日	２９０日	＋３日 １０１．０（%）	
施設利用者数	２１，１３９人	２０，８３１人	＋３０８人 １０１．４（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００．０% ２９３日／２９３日	９５．５% ２７７日／２９０日	＋４．５ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，５３７，３１０円	１，５１３，６００円	＋２３，７１０円 １０１．５（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（１０）湊山体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 101.0% 施設稼働率 100.0%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 接客・対応は適切である。
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 市民の健康増進のための施設として役割を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 管理内容は概ね良好である。 地域住民だけでなく、近隣の湊山中学校のバレー、バスケット、バドミントンなど中学、高校の部活動などにも幅広く使われている。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９３日	２９０日	＋３日 １０１．０（%）	
施設利用者数	１９，１４６人	２０，０９６人	－９５０人 ９５．２（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００．０% ２９３日／２９３日	９９．７% ２８９日／２９０日	＋０．３ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，３２０，３６０円	１，３６０，６１０円	－４０，２５０円 ９７．０（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし。

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（１１）箕蚊屋体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 103.0% 施設稼働率 100.0%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 接客・対応は適切である。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 市民の健康増進のための施設として役割を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 管理内容は概ね良好である。 年間２４，０００人近い人が利用しており、地区体育館としては最も多い人数である。 一般団体のほか春日、巌、大高、県の公民館利用、松蔭高校、箕蚊屋中学の部活動など幅広く利用されている。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９３日	２９０日	＋３日 １０１．０（%）	
施設利用者数	２３，９３９人	２３，２２４人	＋７１５人 １０３．０（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００．０% ２９３日／２９３日	９９．７% ２８９日／２９０日	＋０．３ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，４３４，７１０円	１，４００，２８０円	＋３４，４３０円 １０２．４（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（１２）米子市営弓道場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 123.7% 施設稼働率 100.0%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	A	２８年度から管理人の常駐を廃止し、市民球場で受付業務を行っている。 回数券の有効期限の延長、使用料の割引など独自の工夫を行っている。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 市民の健康増進のための施設として役割を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 利用者は弓道競技者に限られ、一般利用よりは高校、中学の部活動での利用の割合が多い。 ２８年度から管理人の常駐を廃止したため、利用者に不便をかけているが、料金面で回数券の有効期限の延長や使用料の割引など独自の工夫を行っている。	合計点 （３０）点/（４０）点 ×100＝（７５．０） 平均点 （３．７５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３５９日	２９０日	＋６９日 １２３．７（%）	休館日を縮小したため。
施設利用者数	１６，９７０人	１３，３７９人	＋３，５９１人 １２６．８（%）	〃
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００．０% ３５９日／３５９日	９９．７% ２８９日／２９０日	＋０．３ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	８４８，８０４円	９５０，１４０円	－１０１，３３６円 ８９．３（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

部活利用の中高生も多く来るのに灰皿が入口近くにあるのは良くないとの苦情が利用者からあり、灰皿を他の場所に移すよう指示した。

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（１３）米子市営武道館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 126.0% 施設稼働率 98.9%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	A	２８年度から管理人の常駐を廃止し、市民体育館で受付業務を行っている。 回数券の発行、使用料の割引など独自の工夫を行っている。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 市主催の柔道、剣道教室をはじめ多くの武道愛好家に活用されており、武道振興の役割を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 柔道、剣道をはじめ空手、居合、太極拳など多くの武道愛好家に利用されている。 ２８年度から管理人の常駐を廃止し維持管理は巡回班が実施している。 料金面で回数券の発行や使用料の割引など独自の工夫を行っている。	合計点 （３０）点/（４０）点 ×100＝（７５） 平均点 （３．７５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９３日	２９０日	＋３日 １０１．０（%）	
施設利用者数	１８，８８１人	１４，９８１人	＋３，８３０人 １２６．０（%）	実績増
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９８．９% ２９０日／２９３日	９４．８% ２７５日／２９０日	－４．１ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	７１２，７５０円	８３２，６３０円	－１１９，８８０円 ８５．６（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

２８年度から管理人の常駐を廃止しており、利用者は武道館のインターホンから市民体育館に連絡し、遠隔操作で玄関の開け閉めを行っている。その利用者からのインターホンの呼び出しへの応答が遅れ、外で待たされたとの苦情が寄せられたため、利用予約の状況を確認し、その時間に合わせ、インターホンでの呼び出しに迅速に応答するよう指定管理者に指示した。

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（１４）米子市淀江体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 113.0% 施設稼働率 100.0%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 接客・対応は適切である。
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 市民体育館と並び中核的な体育館の一つであり、各種スポーツの練習のほか､大会も実施され､市民の健康増進のための施設として役割を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 管理内容は概ね良好である。 体育館としては市民体育館に次ぐ利用人数であり、一般利用や部活動のほか、各種スポーツの大会会場としても広く使用されている。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９３日	２９０日	＋３日 １０１．０（%）	
施設利用者数	２７，５８９人	２４，３９７人	＋３，１９２人 １１３．０（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００．０% ２９３日／２９３日	９９．３% ２８８日／２９０日	＋０．７ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，５６３，４３０円	１，５５０，８３０円	＋１２，６００円 １００．８（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（１５）米子市営淀江球場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 106.2% 施設稼働率 33.1%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 淀江体育館で受付を行っている。接客・対応は適切である。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 野球、ソフトボールの大会、一般利用に広く使用され、市民の健康増進の役割を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 全面土のグラウンドのため、市民球場、湊山球場と異なり芝生の養生のための休止期間はないが、冬季の使用はほぼなく、利用率は３割強にとどまる。 野球場としての性格を考えれば、やむを得ないと考えられる。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。
※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３５９日	３０２日	＋５７日 １１８．８（%）	
施設利用者数	１１，７８２人	１１，０９４人	＋６８８人 １０６．２（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	３３．１% １１９日／３５９日	４１．１% １２４日／３０２日	－８．０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，４８６，０８０円	１，７０２，１４０円	－２１６，０６０円 ８７．３（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

大会使用時に近隣住民から応援の音がうるさいとの苦情があった。禁止規定はないが、その場の指定管理者の判断で主催者の方に鳴り物での応援を自粛してもらうよう要請した。

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（１６）米子市営淀江庭球場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 106.7% 施設稼働率 49.7%
⑵利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 淀江体育館で受付を行っている。接客・対応は適切である。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 市民の健康増進のための施設として役割を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 淀江中学校のテニス部の部活動のほか一般の個人利用が中心である。 管理内容は概ね良好である。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３５８日	２９２日	＋６６日 １２２．６（%）	前年度フェンス改修工事により使用できない日があったため。
施設利用者数	３，５２６人	３，３０３人	＋２２３人 １０６．７（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	４９．７% １７８日／３５８日	５１．０% １４９日／２９２日	－１．３ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	０円	０円	±０円 １００（%）	個人使用のみ 使用料金なし

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（１７）米子市営淀江スポーツ広場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 91.1% 施設稼働率 61.1%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 淀江体育館で受付を行っている。接客・対応は適切である。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 市民の健康増進のための施設として役割を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 ４月～１１月の間はナイターの利用も含め、野球、ソフトボール、サッカー、グラウンド・ゴルフなどの利用に幅広く使われている。 管理内容は概ね良好である。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３５８日	３５９日	－１日 ９９．７%	
施設利用者数	１３，３２４人	１４，６２２人	－１，２９８人 ９１．１（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	６１．１% ２１９日／３５８日	５７．７% ２０７日／３５９日	－３．４ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	２８７，５５０円	５８９，６８０円	－３０２，１３０円 ４８．７（%）	照明の改修工事があり夜間使用が減少したため。

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（１８）米子市営大和公園運動広場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 103.7% 施設稼働率 40.9%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 淀江体育館で受付を行っている。接客・対応は適切である。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	資料確認 立地的に利用団体は限られているが、グラウンドゴルフを中心に利用されており、市民の健康増進に役立っている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 地域のグラウンドゴルフのサークルにさかんに利用されている。 管理内容は概ね良好である。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。
※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３５９日	３３０日	＋２９日 １０８．７%	
施設利用者数	３，７５５人	３，６２０人	＋１３５人 １０３．７（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	４０．９% １４７日／３５９日	４５．８% １５１日／３３０日	－４．９ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	―	―	―	使用料金の設定なし

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（１９）米子市営東山陸上競技場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 85.9% 施設稼働率 96.6%
⑵利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 一般利用のほか各種大会が開催され、公認陸上競技場として機能している。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 鳥取市の第１種公認の県営陸上競技場に次ぐ県内唯一の第２種公認の陸上競技場であり、中国大会レベルの大会まで開催可能。部活動、一般利用のほか、県内の大会も多く開催されており、陸上競技の振興に役割を果たしている。 管理内容については、アウトフィールドの補修に取り組むなど良好である。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３５９日	３５９日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	４８，７６２人	５６，７２７人	－７，９６５人 ８５．９（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９６．６% ３４７日／３５９日	９７．８% ３５１日／３５９日	－１．２ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	３３９，８４０円	３３５，０１０円	＋４，８３０円 １０１．４（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

サッカーの試合時に近隣住民から応援の音がうるさいとの苦情があった。騒音の規制に触れるものではないが、鳴り物での応援を自粛してもらうよう主催者に依頼した。

6　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（２０）米子市営東山補助グランド	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 92.0% 施設稼働率 22.0%
⑵利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 接客・応接は適切である。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 施設の利用率は高くないが、陸上競技場のサブトラックとしての機能を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 本来の施設の利用目的は陸上競技場のサブトラックだが、ゲートボール、ソフトボールなどにも使用されている。 利用率は高くなく雑草が繁茂しやすい状況だが、除草等適切にグラウンド整備を行っている。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３５９日	３５９日	±０日 １００．０（%）	
施設利用者数	１３，６４７人	１４，８２６人	－１，１７９人 ９２．０（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	２２．０% ７９日／３５９日	３８．４% １３８日／３５９日	－１６．４ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	―	―	―	使用料設定なし

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし。

6　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（２１）米子市営東山球技場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 108.0% 施設稼働率 30.0%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 利用窓口は市民球場。接客・対応は適切である。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 サッカー、ラグビーの公式戦を中心に利用されており、競技の振興の役割を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 サッカー、ラグビーの高校総体、中学総体、サッカーの高円宮杯など公式戦を中心に利用されている。 １２月から翌年５月にかけて休止期間がある、大会利用等に利用を限るなど芝生の養生のため使用制限があるため施設としての利用率は高くないが、競技の振興のための役割を果たしている。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２１３日	２４２日	－２９日 ８８．０（%）	
施設利用者数	７，２８１人	６，７３６人	＋５４５人 １０８．０（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	３０．０% ６４日／２１３日	２９．８% ７２日／２４２日	＋０．２ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	３８９，９８０円	４２２，４８０円	－３２，５００円 ９２．３（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（２２）米子市民球場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 95.0% 施設稼働率 79.9%
⑵利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	A	立入調査・資料確認 ２８年度から隣接する弓道場の管理人の常駐を廃止したため、その受付窓口も行っている。 またグラウンドの土質の改善に取り組むなど独自の工夫も行っている。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 高校野球県大会をはじめとした公式戦、大会、練習に使用されており県西部の野球の拠点施設として競技の振興に役割を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 県西部の野球競技の拠点施設として多くの大会等に利用されている。 独自にグラウンドの改善を行うなど整備の面でも良好な管理を行っている。	合計点 （３０）点/（４０）点 ×100＝（７５） 平均点 （３．７５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　Ａ（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３５９日	３５９日	±０日 １００．０%	
施設利用者数	２５，４８９人	２６，８２５人	－１，３３６人 ９５．０（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	７９．９% ２８７日／３５９日	７８．６% ２８２日／３５９日	＋１．３ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	３，３２７，２０９円	２，６８２，３１３円	＋６４４，８９６円 １２４．０（%）	実績増

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（２３）米子市営東山庭球場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表を記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表を記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表を記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 102.6% 施設稼働率 86.3%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表を記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表を記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表を記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表を記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表を記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 接客・対応は適切である。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 市の体育施設では最も多くの人に利用されており、市民の「健康増進に役立っている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 体育館も含めた市の体育施設で最も多い利用者数があり、利用料金収入も最も多い。 日中、ナイターと多くのテニス愛好家に利用されており、競技の振興に役立っている。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３５９日	３５９日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	４９，１９４人	４７，９３５人	＋１，２９５人 １０２．６（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	８６．３% ３１０日／３５９日	９２．５% ３３２日／３５９日	－６．２ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	８，７９７，５９０円	８，８８８，４５０円	－９０，８６０円 ９８．９（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

壁打ちコート上の高い位置に設置されているフェンスと壁の間に隙間があるため、ボールが挟まりロストするとの苦情があったため、隙間をふさぐよう指示した。

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（２４）米子市営東山スポーツ広場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 94.9% 施設稼働率 82.1%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 接客・対応は適切である。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 大会利用、一般利用に多く使われており、市民の健康増進の役割を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 ソフトボール、グラウンド・ゴルフを中心に大会、一般利用で使われている。 冬季を除き利用率は高い。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。
※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３５９日	３５９日	±０日 １００．０（%）	
施設利用者数	２５，６１６人	２６，９９１人	＋１，３７５人 ９４．９（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	８２．１% ２９５日／３５９日	７９．７% ２８６日／３５９日	＋２．４ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	８９２，３５０円	６８３，１００円	－２０９，２５０円 １３０．６（%）	実績増

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

グラウンド・ゴルフの大会時に隣接する東山公園駅の駐車場が大会参加者の車であふれ、駐車場の通路部分にも車が止められていたため、危なくて車が動かせないとの苦情があった。 大会主催者に他の駐車場にも分散させて駐車することと、駐車場に誘導係をつけることを申し入れた。

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（２５）米子市営湊山球場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 77.8% 施設稼働率 56.5%
⑵利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 利用窓口は市民体育館で行っている。接客・対応は適切。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 各種大会、一般利用に使用されており、野球競技の振興のため役割を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 スポーツ少年団、一般団体等の軟式野球の大会、練習で使用されている。 大会会場として一定の役割は果たしているが、市民球場、淀江球場と比較すると利用者数は少ない。 管理状況は概ね良好。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２４４日	２３６日	＋８日 １０３．３（%）	
施設利用者数	６，５３１人	８，３９４人	－１，８６３人 ７７．８（%）	実績減
施設稼働率＝利用日数／開館日数	５６．５% １３８日／２４４日	５７．６% １３６日／２３６日	－１．１ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	５０３，３９４円	５８１，６１４円	－７８，２２０円 ８６．５（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（２６）米子市営湊山庭球場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 86.3% 施設稼働率 52.8%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 接客・対応は適切である。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 特定のリピーターが多く利用しておりテニスの振興に一定の役割を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 個人使用については使用料が無料であり、リピーターを中心に利用され、テニス競技の振興に一定の役割を果たしている。 管理状況は概ね良好。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３６５日	３５９日	＋６日 １０１．６（%）	
施設利用者数	４，５５５人	５，２７７人	－７２２人 ８６．３（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	５２．８% １９３日／３６５日	５０．４% １８１日／３５９日	＋２．４ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	３，１５０円	０円	＋３，１５０円	専用使用があったため。 （個人使用は使用料無料）

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（２７）米子市営日野川運動公園	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 26.4% 施設稼働率 45.4% 天候等の理由により大幅に減少
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 受付窓口は市民体育館。接客・対応は適切。
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 使用料無料で気軽に使える施設として多くの利用者に使われており、市民の健康増進に役立っている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 国土交通省から占用の許可を得て供用している。 グラウンドの面数が多く、使用料も無料のため気軽に利用でき、野球、サッカー、ラグビー等の大会、一般利用で多くの市民に使用されている。 管理状況は概ね良好。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況　（野球場Ａ～Ｅ）

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３６５日	３５９日	＋６日 １０１．６（%）	
施設利用者数	３，６０９人	１３，６２８人	－１０，０１９人 ２６．４（%）	本来利用者の多い土日に悪天候及び大会予備日で押えられ使用不能の日が多かったため。
施設稼働率＝利用日数／開館日数	４５．４% １６６日／３６５日	５１．８% １８６日／３５９日	－６．４ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※1　利用状況　（サッカー・ラグビー場）

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３６５日	３５９日	＋６日 １０１．６（%）	
施設利用者数	９，９６５人	１０，８０２人	－８３７人 ９２．２（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	５３．４% １９５日／３６５日	６１．６% ２２１日／３５９日	－８．２ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※1　利用状況　（少年野球場）

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３６５日	３６０日	＋５日 １０１．３（%）	
施設利用者数	３，５１１人	４，３８４人	－８７３人 ８０．０（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	３２．３% １１８日／３６５日	２９．７% １０７日／３６０日	＋２．６ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	―	―	―	使用料設定なし

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

グラウンドの土の状況について良くない旨利用者から指摘があり、指定管理者に該当部分の土を入れ替えるよう指示したところ速やかに対応された。

6　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（２８）米子市営日野川堰運動広場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 110.2% 施設稼働率 90.1%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 利用受付は市民体育館。 接客・対応は適切。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 グラウンド・ゴルフ愛好家に多く使われており、市民の健康増進に役立っている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 日野川運動公園と同様に国土交通省の占用許可を受け供用している。 利用の大半はグラウンドゴルフであり、多くの愛好家に利用されている。 管理状況は概ね良好。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３６５日	３５９日	－６日 ９８．４（%）	
施設利用者数	１５，０６０人	１３，６５７人	＋１，４０３人 １１０．２（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９０．１% ３２９日／３６５日	９１．６% ３２９日／３５９日	－１．５ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	―	―	―	使用料設定なし

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２８年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年１２月〕

施設名	（２９）米子市営河崎公園スポーツ広場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーキング、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（25点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 63.6% 施設稼働率 55.0%
⑵利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（15点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 受付窓口は加茂体育館。接客・対応は適切。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	資料確認 野球、ソフトボールで使用されており、市民の健康増進に役立っている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 加茂体育館に隣接している野球グラウンドであり、野球、ソフトボールに使用されている。 管理内容は概ね良好。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７５） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３６５日	３５９日	＋６日 １０１．６（%）	
施設利用者数	３，７５５人	５，９００人	－２，１４５人 ６３．６（%）	加茂体育館の改修工事のため使用不能の日があったため。
施設稼働率＝利用日数／開館日数	５５．０% ２０１日／３６５日	７４．７% ２６８日／３５９日	－１９．７ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	２７０，７５０円	２３５，１２５円	＋３５，６２５円 １１５．１（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

総括表に添付

アンケート結果・平成28年度

目次

1・アンケートのまとめ

2・アンケート回収結果

3・アンケートコメント一覧

1・アンケートのまとめ

施設職員のお客様への応対は総じて高い評価を得ています。
施設職員による清掃についても、「施設の清潔さ」で高い評価を得ています。
施設職員による器具・用具の整理整頓についても高い評価を得ています。

一方、たくさんの方から指摘されているのが体育館の「雨漏り」です。

体育館の雨漏りは競技を行う上で「危険」な要素です。
現在は、施設職員による利用者への説明を行い、雨漏り箇所周辺での競技を行わないよう協力を求めています。ですが、使用料金をお支払いしているお客様にとってみれば、利用者自身の安全のために協力せざるを得ない状況であることも事実です。

早期の是正が求められる事案でもありますので、行政としてどのような見解であるか発表を望みます。

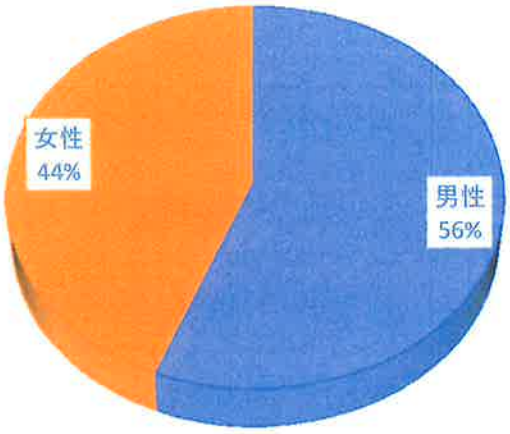
2・アンケート回収結果

・質問と回答数の総計　回収アンケート　　203 通

〈各設問の票数とグラフ〉

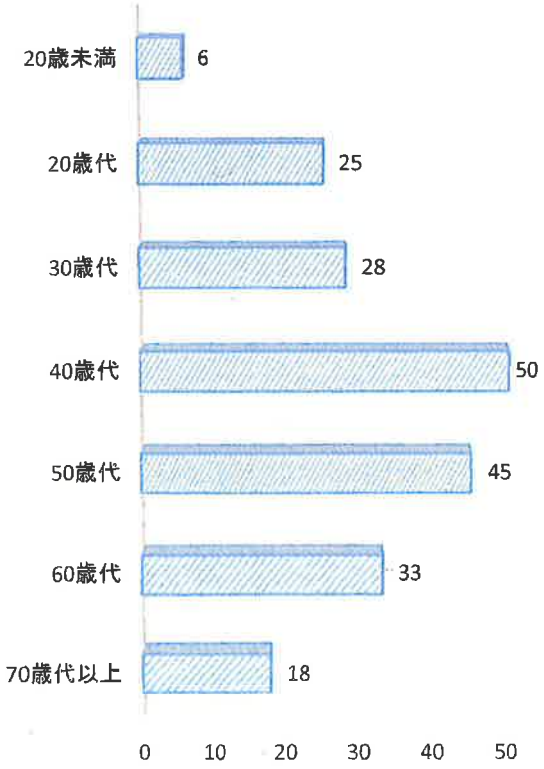
あなた自身のことをお聞かせください。
あなたの性別は?(得票数)

男性　114 票
女性　89 票



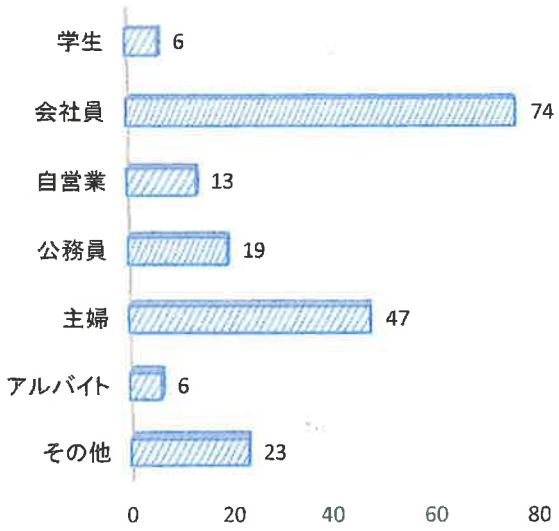
あなた自身のことをお聞かせください。
あなたの年齢は? (得票数)

20歳代未満	6 票
20歳代	25 票
30歳代	28 票
40歳代	50 票
50歳代	45 票
60歳代	33 票
70歳代以上	18 票



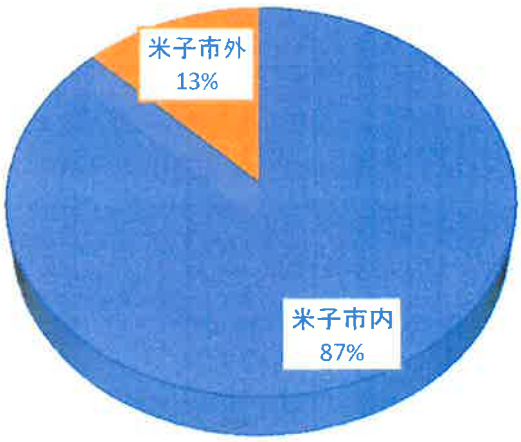
あなた自身のことをお聞かせください。
あなたの職業は? (得票数)

学生	6 票
会社員	74 票
自営業	13 票
公務員	19 票
主婦	47 票
アルバイト	6 票
その他	23 票



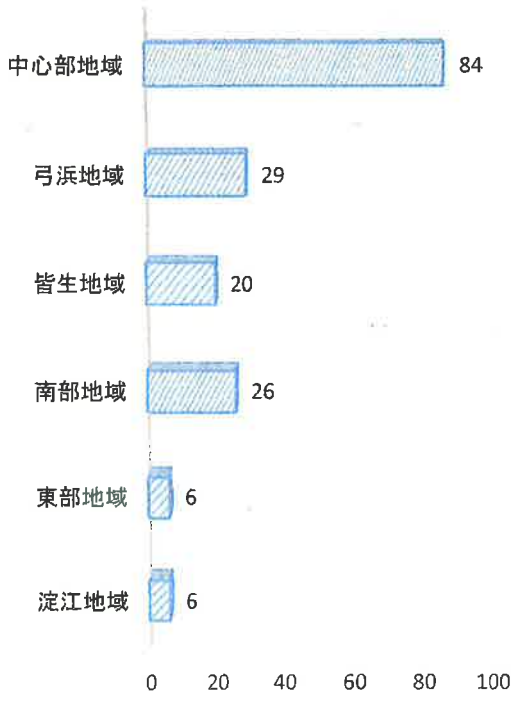
あなた自身のことをお聞かせください。
どちらにお住まいですか?

米子市内	172 票
米子市外	25 票



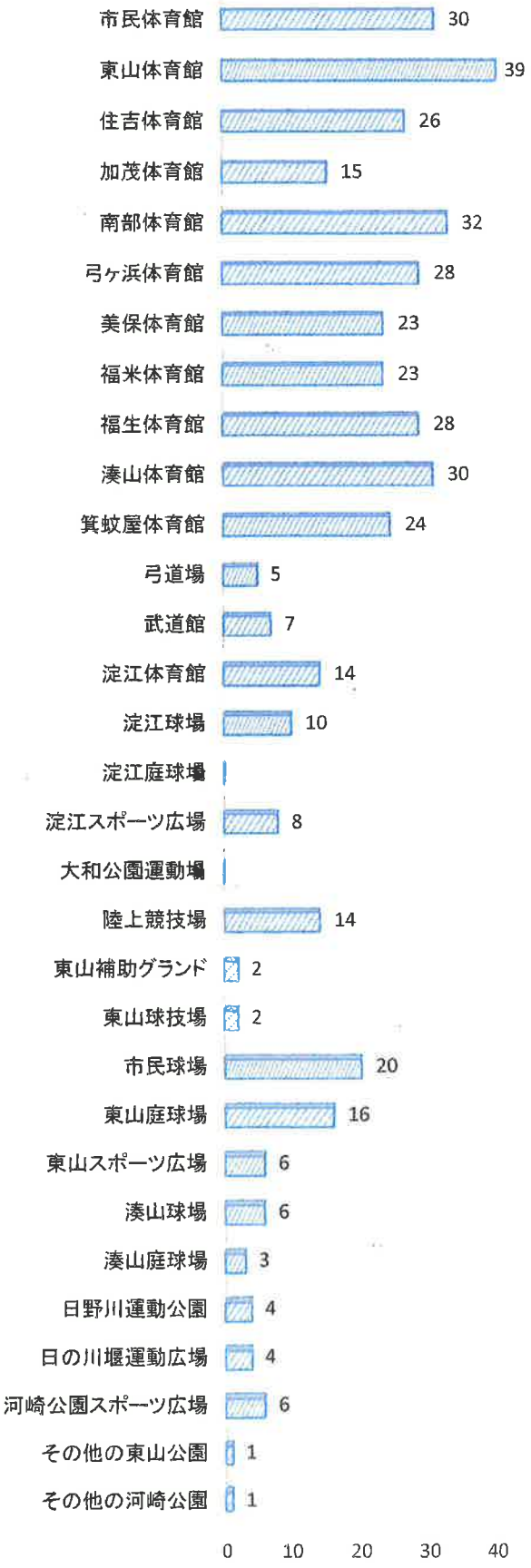
あなた自身のことをお聞かせください。
米子市内のどちらにお住まいですか?

中心部地域	84 票
弓浜地域	29 票
皆生地域	20 票
南部地域	26 票
東部地域	6 票
淀江地域	6 票



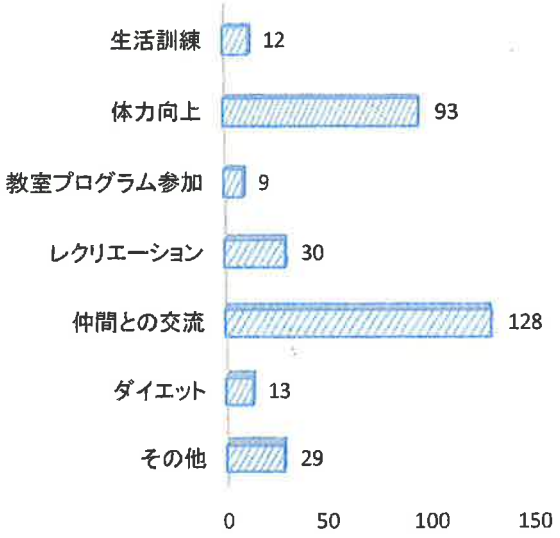
あなたが主に利用された施設を選んでください。(複数回答可)

市民体育館	30 票
東山体育館	39 票
住吉体育館	26 票
加茂体育館	15 票
南部体育館	32 票
弓ヶ浜体育館	28 票
美保体育館	23 票
福米体育館	23 票
福生体育館	28 票
湊山体育館	30 票
箕蚊屋体育館	24 票
弓道場	5 票
武道館	7 票
淀江体育館	14 票
淀江球場	10 票
淀江庭球場	0 票
淀江スポーツ広場	8 票
大和公園運動場	0 票
陸上競技場	14 票
東山補助グランド	2 票
東山球技場	2 票
市民球場	20 票
東山庭球場	16 票
東山スポーツ広場	6 票
湊山球場	6 票
湊山庭球場	3 票
日野川運動公園	4 票
日の川堰運動広場	4 票
河崎公園スポーツ広場	6 票
その他の東山公園	1 票
その他の河崎公園	1 票



現在、この施設を利用している目的は何ですか（複数回答可）

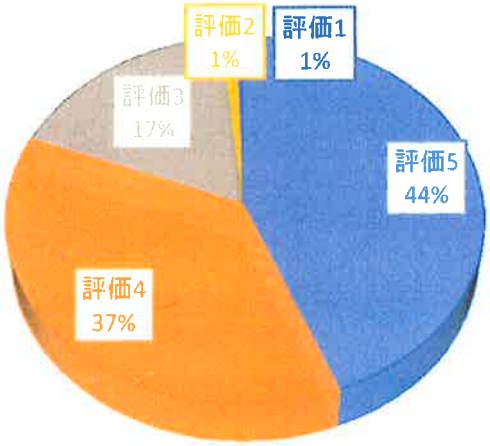
生活訓練	12 票
体力向上	93 票
教室プログラム参加	9 票
レクリエーション	30 票
仲間との交流	128 票
ダイエット	13 票
その他	29 票



施設の運営について、それぞれの満足度を記入してください。

スタッフの接客対応の良さ

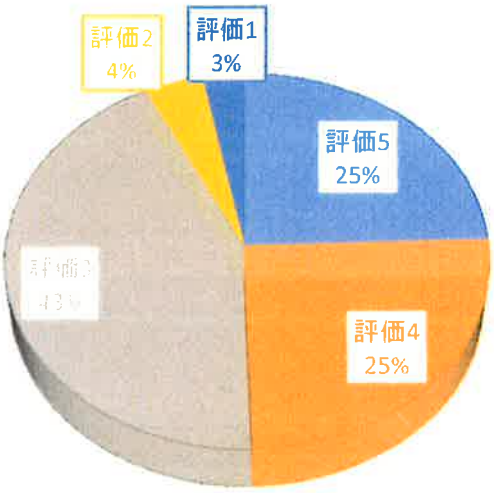
評価5	86 票
評価4	72 票
評価3	34 票
評価2	2 票
評価1	1 票



施設の運営について、それぞれの満足度を記入してください。

予約受付方法の便利さ

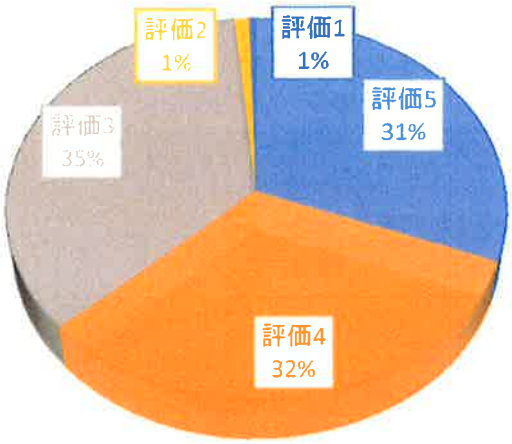
評価5	46 票
評価4	47 票
評価3	81 票
評価2	8 票
評価1	6 票



施設の運営について、それぞれの満足度を記入してください。

利用しやすい料金設定

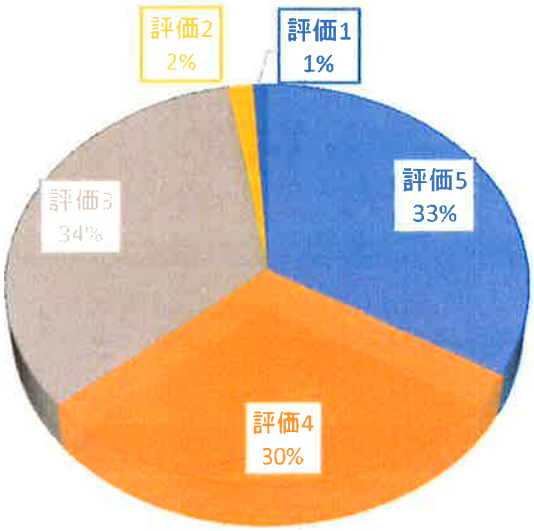
評価5	58 票
評価4	61 票
評価3	66 票
評価2	2 票
評価1	1 票



施設の運営について、それぞれの満足度を記入してください。

スタッフの安全管理に対する意識の高さ

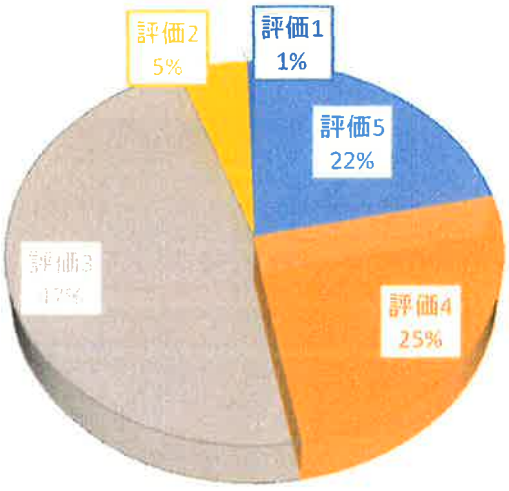
評価5	63 票
評価4	57 票
評価3	63 票
評価2	3 票
評価1	2 票



施設の運営について、それぞれの満足度を記入してください。

案内表示の分かりやすさ

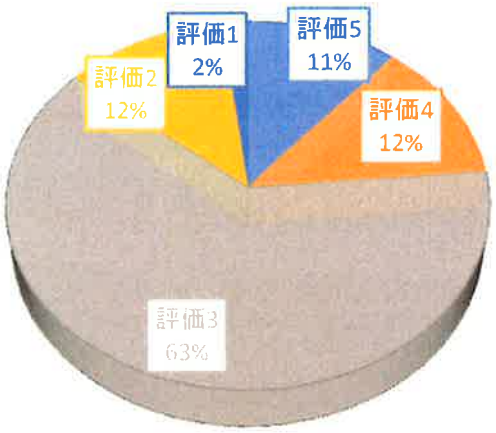
評価5	39 票
評価4	46 票
評価3	86 票
評価2	9 票
評価1	1 票



施設の運営について、それぞれの満足度を記入してください。

教室(講座)等の内容の充実

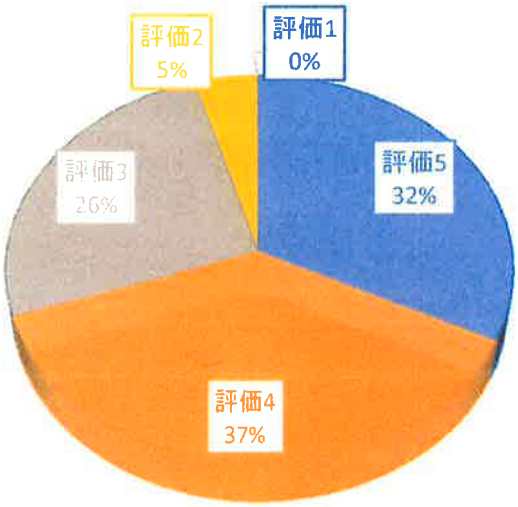
評価5	16 票
評価4	18 票
評価3	90 票
評価2	17 票
評価1	3 票



施設設備について、それぞれの満足度を記入してください。

施設の清潔さ

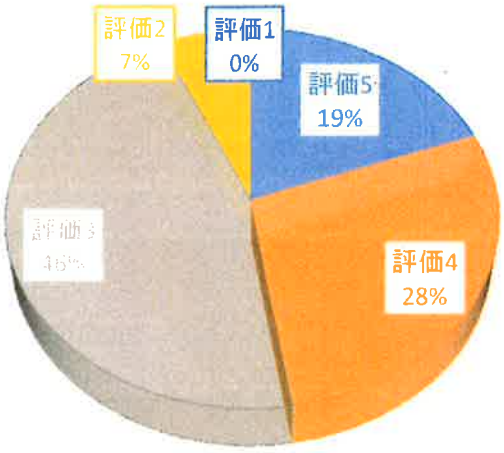
評価5	63 票
評価4	73 票
評価3	50 票
評価2	9 票
評価1	0 票



施設設備について、それぞれの満足度を記入してください。

器具類の種類と数の多さ

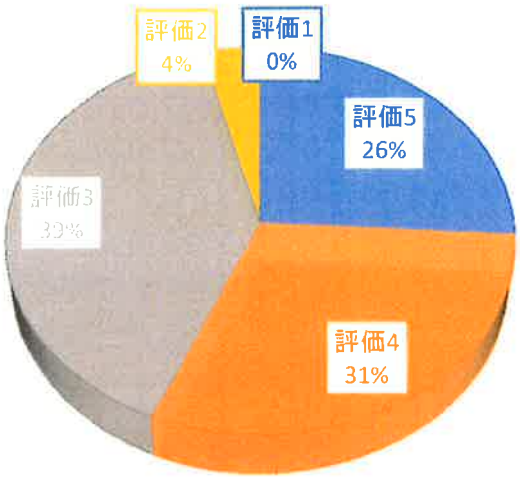
評価5	37 票
評価4	54 票
評価3	88 票
評価2	13 票
評価1	0 票



施設設備について、それぞれの満足度を記入してください。

施設設備の安全性

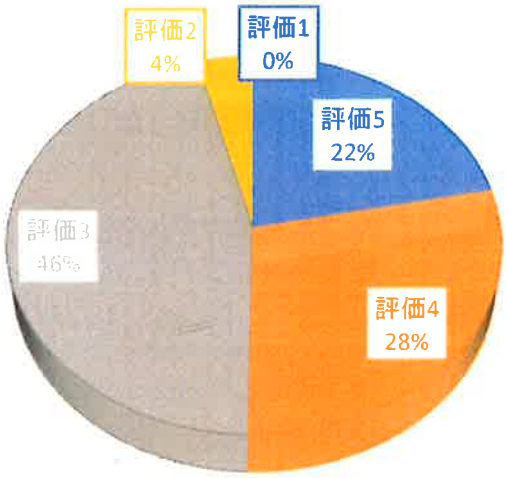
評価5	50 票
評価4	59 票
評価3	76 票
評価2	8 票
評価1	0 票



施設設備について、それぞれの満足度を記入してください。

案内表示の分かりやすさ

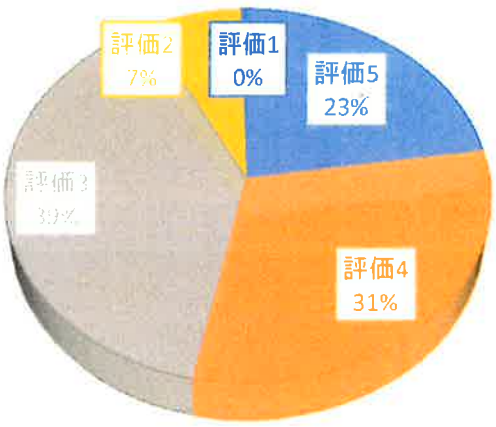
評価5	42 票
評価4	55 票
評価3	88 票
評価2	8 票
評価1	0 票



施設設備について、それぞれの満足度を記入してください。

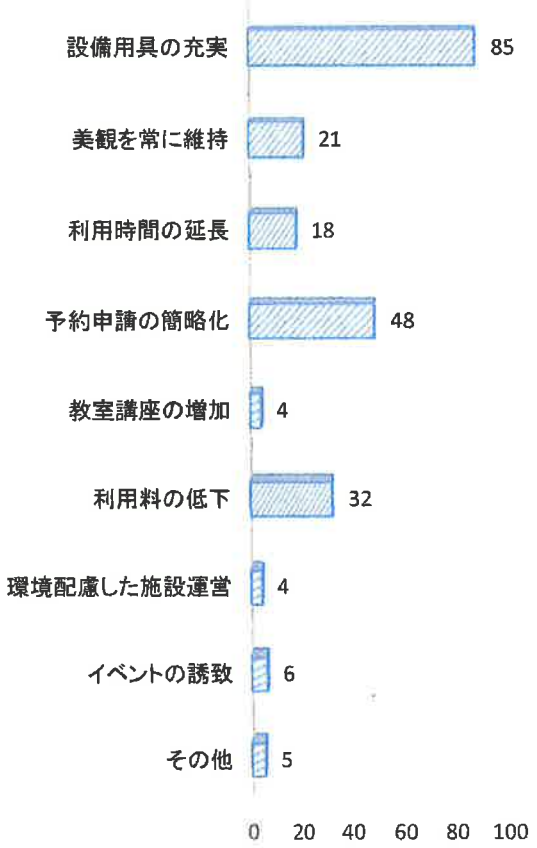
照明設備の明るさ

評価5	44 票
評価4	60 票
評価3	76 票
評価2	14 票
評価1	1 票



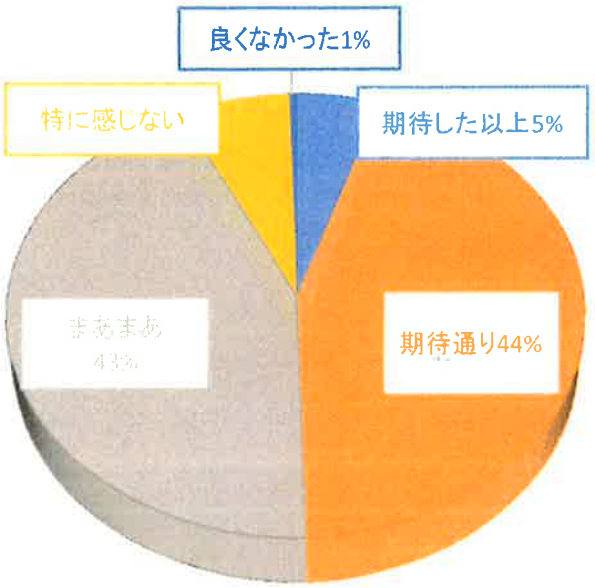
あなたは、今後この施設にどのような運営を一番望みますか。一つだけ選んでください。

設備用具の充実	85 票
美観を常に維持	21 票
利用時間の延長	18 票
予約申請の簡略化	48 票
教室講座の増加	4 票
利用料の低下	32 票
環境配慮した施設運営	4 票
イベントの誘致	6 票
その他	5 票



あなたがもっている当施設の総合的な印象について一つだけ回答してください

期待した以上	10 票
期待通り	86 票
まあまあ	84 票
特に感じない	13 票
良くなかった	1 票



3・アンケートコメント一覧

(誤字脱字等、原文のまま)

〈米子市民体育館回収分〉

・湊山球場の駐車場問題
・ブルペン使用時、ライト側には車を置けるが、レフト側は駐車場が遠く
荷物の運搬以外で移動が遠い
・ネットに穴があいていました
・電光掲示板を設置し施設の充実により、プロ野球や全国規模の大会を誘致し、
活気あるまちづくりにつなげてほしい
・ネット予約をできるようにしてほしい
・施設を管理されている方の対応がすばらしいと思います。今後ともよろしくお願いします
・器具庫の施錠
・サッカーゴールのネットをつける止め具が壊れているので直してほしい
・例えば、出張先(県外時)からの予約ができない。普段かなり利用しているのでかなしい
・耐震工事で、普段施錠のカギを管理されるのが、現地近くの体育館から
市民体育館になり不便さを感じました。仕事の時間、場所の関係で、一度市民体育館に
寄ってから現地に行くと、どうしても予約した時間より使用時間が30分～1時間短くなる
のでカギの扱いをもう少し融通のきくようにしていただけるとうれしいです(合カギを
作って渡していただくなど)
・体育館でのバットを使ってバトミントンの羽打ち練習を許可して欲しい
・ある体育館を使用する時、9時からの使用で8時50分に到着したが入場させてもらえず
9時スタートできなかった。できれば朝一の入場を少し早くお願いしたい

〈淀江体育館回収分〉

・照明灯の充実をお願いします
・スポーツ広場のトイレを洋式トイレに
・冬季の利用時間が5時で終了となっていますが、もう少し長いと仕事帰りに利用できる
かなと思います

〈住吉体育館回収分〉

・バスケットゴールをミニバスでも使えるようにしてほしい
・スタッフの人が親切、優しい
・バスケットゴールを小学生でも使えるようにしてほしい
・トイレを洋式にしてほしい
・管理人の方の対応がすごく良くて、申請の仕方などとても丁寧に教えてくださいます。
今後ともよろしくお願いします
・雨漏りがあり、床がすべる、修理をお願いします
・体育館の長さがほしい（他の体育館はもう少し長いと思う）
・ソフトテニスをしていますが、コートの後ろが狭いので長くしてほしい
・卓球の試合時、光の反射があり見えにくい、窓の配置（カーテン等）を考えてほしい
・談話室、休憩室を設置してほしい

〈南部体育館回収分〉

・いつも親切にありがとうございました

〈弓ヶ浜体育館回収分〉

・テニスネットの修理をお願いします（美保）
・掃除機ヘッドが変

〈美保体育館回収分〉

・雨もりをなんとかしてほしい
・予算の厳しさはわかりますが、雨漏りによる使用環境に支障があるのなら
使用料金等割引検討して欲しい
・雨もり修理お願いします
・雨が降ると、アリーナのセンターに雨漏りして注意してプレーをしなければなりません。
他の人はどう考えているのかと思う事さえあります

〈湊山体育館回収分〉

・団体登録済の団体の翌月受付がもっとスムーズに受付処理されたら良いと思う。
もう少し時短できないでしょうか？
・事前予約があれば、午前9時より早い時間から利用できるようにしてほしい
・ネットで予約をとれるようにしてほしい

〈福生体育館回収分〉

・西側に日よけシャッターがほしい
・大変お世話になっており最高です
・用具を再点検して修理なり新替なりしてほしい
・雨漏りの体育館がある。屋根の修理が必要
・湊山テニスコートは老朽化が進んでいる。砂の入れ替え、白線の取り替えが必要
・外観は古そうだけど、施設の内部はきれいにしてある

〈箕蚊屋体育館回収分〉

・雨漏りを直してほしい
・土曜日にあいていると無料で利用できるので良い
・片方だけでも吊り下げリングを使わせてほしい
・電話で予約できたほうが良い（ネットであいていたのに、行ったら他の人にとられた）
・女子トイレも様式を設置してください
・除雪はしてほしい
・雨漏りの時のスリップが気になります
・駐車場の照明が切れっぱなし
・卓球台（2・3台）にソリが多少出ており、交換の時期かと思います
・2回目から気軽に電話予約できる良い点
・いつも用具をきちんと整頓されていて気持ちよく使えます
・休憩室のカーテンがぼろ、交換して下さい。西日がまぶしい
・器具を交換してして下さい（全体に古い！！）
・申請は、1回目から電話になれば良いと思います

〈福米体育館回収分〉

・無理なお願いとは思いますが、雨漏りが直るといいな
・雨漏りの日は足元が危険です
・雨漏りがあり、利用時にケガのおそれがあった。その後、すぐに対応して頂けたのでよかったです
・雨漏りを無くしてほしい
・雨が降った日は、雨漏りが心配です。